

やつおもて

第23号（2019年4月）
編集発行：和田公民館
協力：公民館運営推進委員
電話：（45-1918）
eメール：wada-k@ph-hamada.jp



今年の冬は雪が少なく暖冬でした。このまま暖かい春が来てくれるものと勝手に思っていたので、3月になりいきなりのあられやみぞれにビックリ！桜のつぼみもまだ膨らむのを迷っているようです。桜前線の到来が待ち遠しいです！（つぬ）

【和田地区の歴史コーナー】 和田地区の神社紹介⑨です。

【本郷大元神社】

迫田名の耕作者が神長であったという伝承があり、旧社地はこの名田の水上にあったものであろう。他社の例からみて大元社は慶応3年ごろに本郷八幡宮に合祀されたものと思われる。終戦後旧社地の近くに社殿を建てている。



現在の大元神社

昔の刀禰は大益、迎田、山田屋、五分一、田屋、半田、湯松、湯迫、寺ヶ溢、榎河内、早田の11戸であったという。大益、迎田はともに湯浅姓である。湯浅系図によるとその本郷移住は1674年であり、本郷八幡宮勧請の伝承は1247

年であるから、前記の刀禰伝承は江戸時代につくられたものと思うべきである。何回交替していてもその屋敷に住み、その付近を耕作する者が刀禰の役目を継承する慣例がある。現在の刀禰はさらに変わっているはずである。

大元神社例祭執行「定約書」第16条に「喫飯終れば本膳はそのままさしおき、汁椀にて四度、飯椀にて三度半酒を受け七度半の式を挙げること」と書かれている。これを「七こんなから」の盃という。

また、大元谷にいる「ひいる（ひる）」は大元さん（お大師さん）が「ひいるの口を封じなされた」ので血を吸わないという伝承があったという。同じ伝承は各地にある。人々が「ひる」に悩まされ困っていたから生まれた伝承である。

（旭町誌上巻より抜粋）



だいじょうぶ その一言で 勇気です

★続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです★



戸川の大なます



石州石見和田郷の西田某は友達5、6人と戸川に釣りに出かけた。それぞれが好きなポイントを捜して釣ることになったが西田はある所で「大なます」を釣り上げた。そのなますの魚体は二尺あまり、コケが生えているほどの恐ろしく大きなものであった。彼はそれを両腕にかかえ皆のところへ戻ってきた。早速「焼いて食べよう」ということになり、皆の腹の中に納まった。

・・・しばらくして、突然西田が河原をピョンピョン飛び跳ねてカエルのように草叢に消えていった。「おい、おい、どうしたんだ！悪ふざけもいい加減にしろよ。アハハハ・・・」と皆で笑いあっていた。・・・が、・・・が、その西田はいくら待っても戻ってこない！どういうことだ？



仲間が心配になって捜してみることにになった。すると、なんとある所で大の字になって眠り込んでいるではないか。それを揺り起こしてわけを聞くと「ポカーン」として「自分がどうしてこんな所に居るのかわからない」と言う。皆はどういうことだ・・・まさかあの「なます」この淵の主か！？西田さんあのなますに取りつかれたんじゃないのか？

するとキョロキョロしていた西田はみるみる青くなり目の前の淵に手をあわせた。

「こ、この淵で釣り上げたんだよ。あのなますは！」

皆は青くなって声も出ない。・・・まさにこの淵の主だったんだろう。

こんなことがあって、西田はしばらく寝込んだと云う。

(文・絵 佐々岡健次)

教子ウィムセットの海外便り 第2回

ナッシュビルからこんにちは！



ハロー！今回は、我が家のお買い物についてです。日本と同じように、アメリカでもスーパーは夕方や週末に混雑するため、私は平日の仕事休みの日、息子たちを学校へ送ったのち、朝7時くらいにスーパーで買い物をします。（ちなみに、小学校は朝7時15分から授業が始まります。早い！）

こちらのスーパーは何といっても食料の種類が豊富で1つずつのサイズが大きいことが特徴ではないでしょうか。初めてこちらへ来たときは、こんなにたくさん誰が買うの？と不思議でしたが、夕方行くと棚からすべてのパンが消えていることもあります。

そして、こちらのスーパーにもポイントカードがあります。ポイントが貯まって一番お得なことは、スーパーの隣にガソリンスタンドを併設しているところが多いため、ガソリンをかなり安い値段で満タンにすることができることです。ナッシュビルも車社会なので助かります。それから、スーパーには食料品以外に薬局や銀行も入っているため本当に便利です。



現地の人たちに愛されているアメリカのスーパー、我が家にはなくてはならない存在です！（文・写真 教子ウィムセット）

公民館からのお知らせ

★敬老乗車券出張販売の予定

平成31年4月5日（金）10:30～11:30

★2019ぐるっと金城と旭のひなめぐり

平成31年4月6日（土）～7日（日）9時～16時

今年もたくさんのひな人形が集まりました。

見に来てくださいね！



～新年度にあたり～

新年を迎えて早3月が終わろうとしています。

皆様方におかれましては、穏やかな天候に恵まれ元気な毎日を送っておられることと思います。平素は、公民館事業に格別のご理解とご支援を賜り有難うございます。

今年は、天皇陛下御退位によりいろいろな行事が予定され新しい元号がスタートします。和田地区では、まちづくり推進委員会が「安全で住みやすい和田地区」を目指して事業を展開しています。公民館でも気軽に立ち寄り、楽しい公民館、面白い公民館になるように地域の皆様と一緒に考え行動していきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



次は

～つぬちゃんのこなのやりましたコーナー～



3月9日（土）食改和田支部のみなさんに協力していただき大根を活用する料理教室を開催しました。地域の方の畑に食べきれずに残ったたくさんの大根をいただき、「切り干し大根」「大根の酢漬け」を作りました。また、市民福祉課砂田栄養士さんから、新しい味の大根料理を教わりました。大根料理と言えば、お煮しめ、おでん、酢の物などが一般的です。今回は大根ステーキということで、焼き肉のたれやマヨネーズで味付けした大根料理を作りました。たくさんできた地域の産物を捨てるのは「もったいない」というこの教室を今後も機会があれば行っていきたいと考えています。



切り干し大根



あとがき

2月11日（月）島根県公民館研究集会が開催されました。これまで東部での開催が多く浜田市での開催は初めてのことです。この日は地域課題解決型公民館支援事業成果発表会を兼ねており約450人の会となりました。成果発表の分科会では、地域課題を解決しようと頑張っておられる方々の熱い思いを聞くことが出来ました。人口減少や高齢化はおよそどの地区でも共通の課題のようです。和田地区に合った課題解決方法、みんなで考えてみましょう！（美）